

21日 土曜

ダニエル

3:13 そこでネブカデネザルは怒りたけり、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴを連れて来いと命じた。それでこの人たちは王の前に連れて来られた。

3:14 ネブカデネザルは彼らに言った。「シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴ。あなたたちは私の神々に仕えず、また私が立てた金の像を拝みもしないというが、ほんとうか。

3:15 もしあなたがたが、角笛、二管の笛、立琴、三角琴、ハープ、風笛、および、もちろんの楽器の音を聞くときに、ひれ伏して、私が造った像を拝むなら、それでよし。しかし、もし拝まないなら、あなたがたはただちに火の燃える炉の中に投げ込まれる。どの神が、私の手からあなたがたを救い出せよう。」

3:16 シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴはネブカデネザル王に言った。「私たちはこのことについて、あなたにお答えする必要はありません。

3:17 もし、そうなれば、私たちの仕える神は、火の燃える炉から私たちを救い出すことができます。王よ。神は私たちをあなたの手から救い出します。

3:18 しかし、もしそうでなくとも、王よ。ご承知ください。私たちはあなたの神々に仕えず、あなたが立てた金の像を拝むこともしません。」

3:19 すると、ネブカデネザルは怒りに満ち、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴに対する顔つきが変わった。彼は炉を普通より七倍熱くせよと命じた。

3:20 また彼の軍隊の中の力強い者たちに、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴを縛つ



Bible Reference
聖書の記述

て、火の燃える炉に投げ込めと命じた。

3:21 そこで、この人たちは、上着や下着やかぶり物の衣服を着たまま縛られて、火の燃える炉の中に投げ込まれた。

3:22 王の命令がきびしく、炉がはなはだ熱かったので、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴを連れて来た者たちは、その火炎に焼き殺された。

3:23 シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴの三人は、縛られたままで、火の燃える炉の中に落ち込んだ。

シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴはこの時をチャンスとばかりに、その信仰を証しました。彼らは神の守りを信じていました。しかしその信仰の動機は自分自身のための打算ではありませんでした。この神への信仰のために自分を犠牲にすることさえ、むしろ喜でもあったのです。

「私たちの仕える神は、火の燃える炉から私たちを救い出すことができます。王よ。神は私たちをあなたの手から救い出します。しかし、もしそうでなくとも…」というのが、彼らの信仰であったのです。

人は試練の時にこそ、どれほど神を信頼しているか、また信念に対して誠実であるかがわかるものです。自分の信仰はどうであるか、私たちは自分自身を吟味してみることも必要でしょう。主はご自身のために生きる者を支えてくださる方です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

